

明らかな誤りの訂正請求書

特許庁長官 殿

1. 国際出願の表示 PCT/JP2004/000277

2. 出願人

名称 株式会社竹内製作所

TAKEUCHI MFG. CO., LTD.

あて名 〒389-0601 日本国長野県埴科郡坂城町

大字坂城9637

9637, Oaza-Sakaki, Sakaki-machi,

Hanishina-gun, Nagano 389-0601

JAPAN

国籍 日本国 JAPAN

住所 日本国 JAPAN

3 代理人

氏名 (8662) 弁理士 松田 宗久

MATSUDA, Munehisa



あて名 〒381-2247 日本国長野県長野市青木島

1-24-24

1-24-24, Aokijima, Nagano-shi,

Nagano 381-2247 JAPAN

4. 訂正の対象

明細書の9頁と請求の範囲の14頁

5. 訂正の内容

(1) 明細書の9頁の17行目の「・・・その開口部60を・・・」を、別紙の通り、「・・・その開口部62を・・・」と、訂正します。

(2) 請求の範囲の14頁の20行目の「・・・請求項1記載の・・・」を、別紙の通り、「・・・請求の範囲第1項記載の・・・」と、訂正します。

6. 添付書類の目録

(1) 明細書の9頁と請求の範囲の14頁と14/1頁の新たな用紙 各1通

加えて、第3図と第4図に示した主として海流水を利用する発電装置においては、海面近くを海流水の進む方向とは逆方向に戻る波により、コンベヤの下方側の巡回部32外側に並ぶ複数のバケット60が、海流水の進行方向とは逆方向に押し戻されて、コンベヤ30が逆方向に巡回するのを防ぐための、逆転防止機構100が備えられている。逆転防止機構100には、汎用のラチェット機構が用いられている。逆転防止機構100は、第4図に示したように、コンベヤ30を支持する回転軸20の回転力を発電機の駆動軸72に伝える軸部分に備えられている。

図1と図2又は図3と図4に示した流水利用又は海流水利用の発電装置は、  
 10 以上のように構成されていて、これらの発電装置においては、川底又は海底から立設されたガイド棒50の周囲に支持された枠体10を上下方向に適宜量移動させて、枠体10内側にコンベヤ30を支持する回転軸20が川流水又は海流水の水面近くに位置するように、枠体10を、枠体10前後に付設されたフロート40により、川流水又は海流水の水面に浮かせた状態とすることができる。そして、その枠体の下端開口部周縁12とほぼ同一平面上に位置するコン  
 15 ベヤの下方側の巡回部32外側に並ぶ枠体10下方に突出する複数のバケット30を、その開口部62を川流水又は海流水の進行方向とは逆方向に向けて、枠体10下方の川流水又は海流水中に浸漬させた状態とすることができる。そして、そのコンベヤの下方側の巡回部32外側に並ぶ複数の各バケット60に、  
 20 その開口部62から枠体10下方を流れる川流水又は海流水を流入させることができる。そして、その複数の各バケット60に流入させた川流水又は海流水の持つ運動エネルギー（衝撃力）により、その複数の各バケット60が付設されたコンベヤの下方側の巡回部32を、川流水又は海流水の進行方向に巡回させることができる。そして、そのコンベヤ30が巡回するのに伴って、コンベヤ  
 25 30を支持する枠体10前後の回転軸20を回転させることができる。そして、その枠体10後部の回転軸20に連結された発電機70を増速機80等を介し

## 請求の範囲

1. 下端が開口した枠体内側に並べて架設された複数の回転軸の周囲に互って、コンベヤが、その下方の巡回部を前記枠体の下端開口部周縁とほぼ同一面上に位置させて、ほぼほぼ水平方向に向けてほぼ垂直面内をループ状に巡回可能に支持され、前記枠体が、該枠体内側に支持されたコンベヤの巡回方向が川流水又は海流水の進行方向を向くように、川底又は海底から立設されたガイド棒の周囲に上下方向に摺動自在に支持され、前記枠体内側に支持されたコンベヤの巡回部外側の長手方向に沿って、川流水又は海流水を流入させるための複数のバケットが、そのコンベヤの下方側の巡回部外側に並ぶ複数のバケットの開口部が、川流水又は海流水の進行方向とは逆方向を向くように、その開口部をコンベヤを巡回させる方向とは逆方向に向けて、所定のピッチで並べて付設され、前記枠体に、該枠体内側にコンベヤを支持する前記回転軸が川流水又は海流水の水面近くに位置するように、枠体を川流水又は海流水の水面に浮かせた状態とするための気体の入ったフロートが付設され、前記コンベヤを巡回可能に支持する回転軸であって、コンベヤの巡回に伴って回転する回転軸に発電機が連結されたことを特徴とする川流水又は海流水利用の発電装置。

2. 海面近くを海流水の進む方向とは逆方向に戻る波により、コンベヤの下方の巡回部外側に並ぶ複数のバケットが、海流水の進行方向とは逆方向に押し戻されて、コンベヤが逆方向に巡回するのを防ぐための逆転防止機構が備えられたことを特徴とする請求の範囲第1項記載の川流水又は海流水利用の発電装置。

3. 前記枠体がガイド棒周囲を下方に降下し過ぎた状態となるのを防ぐための、ストッパ機構が備えられたことを特徴とする請求の範囲第1項又は第2項記載の川流水又は海流水利用の発電装置。

4. 前記コンベヤの巡回部外側の長手方向に沿って並べて付設された複数の各バケットの開口部外側縁に、川流水又は海流水をバケット内に流入さ

せるためのガイド板が、バケットの胴部側とは反対側の斜め外方に向けて起